

市民政党

草の根

<http://kusanone-iwakuni.net/>

第 13 号 2014年11月

発行 市民政党「草の根」

代表 井原 勝 介

住所 〒740-0017

山口県岩国市今津町

2-17-20

電話 0827-21-9808



擁立候補の得票数

重岡邦昭 1,799票

広中英明 1,643票

有権者数 116,837人
投票率 57.40%
(過去最低)

統一地方選挙

統一地方選挙は、地方公共団体における選挙日程を全国的に統一して実施される日本の地方選挙です。平成27年はその年に当たります。

岩国市と和木町でこれに該当する選挙は県議会議員選挙です。

次回の
県議会議員選挙は
来年の
4月12日(日)
の予定です

自ら政治家を創る

草の根の設立趣旨に、こう書かれている。その理念と政策を実現するためには、既存の政治家や政党に頼るのではなく、市民自らが主体となって政治家を育成し、実際に当

選させる必要がある。

そうした観点から、昨年9月に候補者を公募し、12月に4人の応募者について書類審査と面接を行った上で、年が明けた2月の運営会議において最終的に2人の候補者に決定した。その後、市内を大

10月26日に行われた岩国市議選で、市民政党「草の根」が擁立、応援した2人の候補者(現職1、新人1)がいずれも当選した。応援していただいた多くのみなさんに感謝したい。

代表 井原勝介

初めての挑戦

選挙は市民のもの

く2つに分け、各地での集会やチラシ配りなど約8カ月間にわたって様々な支援活動を行ってきた。初めての挑戦であったが、何とか結果を出すことができたとしている。

「いい」政治家をつくること、が、住みよいまちをつくることにつながる。

選挙は、候補者のためにあるのではなく、私たち市民のためにある。

ある程度地域性も必要かもしれない、団体などの意向もある、友人や親戚関係も無視できない。しかし、それ以上に大切なことは、何ものにも制約されず、市民一人ひとりが自らの意思で自由に選ぶこと。その基準は、もちろん候補者の理念と政策、そ

して「市民のために命をかけて働く覚悟があるかどうか」を見極めること。
「選挙のやり方が、その後の政治を決める」
従来の固定した考え方を少しずつ変えていくことも、今回の戦いのもう一つの大きな目的であった。

草の根運動の浸透

そんな中、「草の根は誰を推しているのか」「草の根の候補なら信頼できる」・・・草の根との強い絆を感じさせる声が少なからず寄せられた。本当に嬉しいことである。県議井原すがこに、市議2人が加わり、私たちの活動はさらに幅を広げることになる。そして、来年4月には、山口県議選が行われる。着実に歩を進めたい。

当選内訳（定員32名）
 現職：22人 元職：2人
 新人：8人
 有権者
 116,837人
 （前回 119,384人）

「草の根」市議誕生

10月26日の岩国市議選で、「草の根」擁立の2人の候補は共に当選しました。今後の活動について寄稿していきます。

いただきました。議会傍聴など、これからも支援を続けていきたいと思います。

誠の覚悟で行動する

重岡邦昭

防衛予算に頼らない街と比較し、都市基盤整備や社会資本整備、



平成17年、在日米軍再編計画案が示され、岩国市では、厚木からの空母艦載機59機の移駐の是非についての二極化した対立が始まった。平成18年2月、住民投票が行われ、市民の6割近くが艦載機移転に反対する民意を示した。これに対して国は、建設中の新庁舎補助金35億円を突然止め、井原市長を辞任に追い込んだ。それ以後、二回の市長選挙と市議会選挙が行われたが、アメとムチで市民を押さえつけ、国に協力する容認派の市長と市議会議員を作り上げてきた。しかし、彼らが艦載機移駐を容認する条件である、地域振興策や安心安全対策43項目の実効性は乏しい。

平成17年、在日米軍再編計画案が示され、岩国市では、厚木からの空母艦載機59機の移駐の是非についての二極化した対立が始まった。平成18年2月、住民投票が行われ、市民の6割近くが艦載機移転に反対する民意を示した。これに対して国は、建設中の新庁舎補助金35億円を突然止め、井原市長を辞任に追い込んだ。それ以後、二回の市長選挙と市議会選挙が行われたが、アメとムチで市民を押さえつけ、国に協力する容認派の市長と市議会議員を作り上げてきた。しかし、彼らが艦載機移駐を容認する条件である、地域振興策や安心安全対策43項目の実効性は乏しい。

今回の選挙戦で言えることは、防衛予算による街づくりの失敗、市民置き去りのなれ合い政治に嫌気がさした、ある意味、岩国市の発展を阻害してきた議会に対し、市民の鉄槌が下された厳しい選挙戦であったと見るべきである。私も大いに反省し、これらの4年間、市民全体の奉仕者として、約束した空母艦載機移駐、上関原発建設、集団的自衛権行使反対を始め「街づくりPOINT6」を誠の覚悟をもって行動し、4年後の審判を受けるためにも、議会だよりを通して私の活動を報告していくことを約束します。

草の根の理念生かす

広中英明



8年よい結果を出すことができました。支援者の方々に、うれしい報告が出来たことは、本当に良かったです。これからは「草の根」の一員として、地域・岩国市の為に市民の味方になれるよう全力で取り組んでまいります。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

その間には2度の選挙を経験しました。今回、私は、草の根のメンバーとして、約1年間井原ご夫妻ま

初心を忘れずに

長津功三良



諸先輩を差し置いて世話人としての役目を仰せつかりましたが、素人なのでうろろうするばかりでした。新人候補には苦しい戦いでしたが、前回と比べ手応えを感じながら闘っておりました。林多喜男さんなどの先輩、経験豊富なスタッフのお陰で一緒に頑張ることができました。

特に「草の根」の井原ご夫妻や事務所スタッフのご指導とご尽力には頭が下がります。高齢化・過疎化の進む地域社会の活性化・改善に、私もともに手を携えて勉強し応援をしていきたいと思います。広中ひであき君も新しい第一歩を踏み出し、厳しい道を歩むことになるかもしれません。初心を忘れず皆様のために頑張ることをお約束いたします。市民の為に市会議員です。今後とも皆様のご指導・応援を宜しくお願いいたします。

井原すがこの想い



これまで
市民政党
「草の根」
として、たっ
た一人の議員だっ
た私に、この
度2人の
市議会議員
の仲間が誕
生しました。
県政報告
会を各地区
で開くと、
市政に対す
る質問や疑
問も出るの
ですが、な
かなか的確
に答えるこ
とができず、
困ったことが何度
ありました。

しかし、これか
らは県政・市政報
告が同時にできま
すので、皆さんと
の質疑応答もより
中身の濃いものに
なり、皆さんの
声をしっかりと
聞き出すことが
できます。

市議選を終えて 議会報告の充実を期待を

県議会議員 井原すがこ

重岡さん、広
中さん共に、政
治に対する心構え
や考え方がとても
しっかりしておら
れ、これまでの経
験など、私が教え
ていたことも多く
あります。
私を含め
3人でこれ
まで届かな
かったみな
さんの大切
な声を一生
懸命県政・
市政に反映
できるよう
頑張ってい
りますので、どうぞ
よろしくお願ひ
いたします。

ご意見やご要望
があれば、どんな
小さなことでも遠
慮なくお聞かせ下
さい。

一步踏み込んで

市議選に手振りで参加させていただきました。
狭い山道を上って行く数軒の民家があり、
農作業の手を休めて応えて下さる方々。
山道からの風景は素晴らしく、癒されました。
眼下に広がる綺麗に整備された棚田は、
不便な場所に暮らす人達の苦勞の賜物です。
選挙カーをうるさいと思っていた私も、
参加する事で違って感じる事が出来ました。
政治も、一步踏み込んで参加してみても
違った風景が見られるのではと思いました。

(〇)

ウグイス嬢とは

ウグイス嬢とは野球場や選挙カー
でアナウンスをする女性のこ
とで、文字通りウグイスのよう
に美声であるという意味から作
られた言葉です。

選挙カー



ウグイス嬢奮戦記

市議選が始まり一斉に候補者の街宣車が
町に繰り出した。うぐいす嬢の連呼がはじ
まった。早口に言えば響きすぎる。

名前の連呼ばかりでは味気ない。やはり、
政策を前面に訴えつつ、候補者名を常に間
に挿みつつ、只々お願いする。

交通、人、病院、学校への配慮は勿論。
そんな一瞬の合間には、遠く島々、棚田等、
絶景が待っていてくれる。

支援者の声援、笑顔の後押し、常日頃の
両候補者のお人柄、政策…が勝利の達磨の
目を黒く塗らせてくれたに違いない。(K)

訴え方を工夫した

草の根の前進実感

私はこの度お二人の街宣車にて応援
しました。

重岡さんは周りの方への気遣いの余
力を覗かせながら一歩も妥協せず、言
うべき事は恐れることなく言う姿を頼
もしく感じました。

井原すがこ県議の熱烈な応援を受け、
広中さんご夫婦で挨拶に走り回る姿も
印象的でした。

草の根という政党で結ばれた心の絆
を市民から繋いでいく、という決意を
お二人から何度も感じました。
草の根を大きく前進させる夢を現実
にしたいと強く思いました。(S)

草の根第一農園は、平成22年、休耕農地利用の農
園として開設。キュウリ、トマト、ピーマン、ピーナ
ツ、ナスビなど多くの野菜を作っています。作業は毎
月第2日曜日、9時からお昼まで。場所は、玖珂から
大島へ通じる国道437号線沿い、
大きな看板が目印です。

畑の様子



年々収穫量も増し楽しみが増し
ます。収穫品は、参加者が持ち返っ
ています。また、休憩は手作りの

草の根第一農園
作業は毎月第2日曜日
皆さん参加ください

弁当をつまみながら、世情の
いろいろを語り合います。

参加は自由ですが、作業の
出来る服装でご参加ください。

作業日や場所などについて
は、「草の根事務所」へ問い
合わせください。

最近はイノシシが出没します。被害は今のとこ
ろありませんが、野生のすごさに驚いています。



収穫した野菜

党費の納入について

「草の根」の活動は、みなさまのご協力により支えられています。

まだ、党費納入の手続きがお済みでない場合は以下の要領でご協力よろしくお願いいたします。

- ①お届けした振込み用紙で
- ②地域のお世話人へ
- ③直接事務所へ

党費 党 員 千円
 特別党員 1万円

草の根事務所へご一報いただければこちらから出かけてまいります。

市民政党
草の根
 事務局

お知らせ

投稿のお願い

「草の根」では年2回の「会報」と「ニュースレター」を随時発行しお届けしています。さらに、公報としてはホームページとフェイスブックを用意しております。

今後、これら公報関係の内容充実と党員の意見交換を目的に、投稿を募ることにしました。内容は自由ですが字数は300字ほどです。まお、投稿いただいたものはできるだけ発信いたします。その場合、紙面や編集の都合で、趣旨を変えない範囲で直させていただくことがあります。

原稿は封書又はハガキで「草の根」事務所あて送付してください。原稿は返却しませんのでご注意ください。



毎回、好評の「かつすけウラ話」。草の根事務所や街中の会話、演壇では聞くことの出来ない話に驚き、笑い、時にはなるほどと納得したりです。

今回はIT駆使の茶の間のお話です。

家にいることが少なく、すれ違いの多い主人との会話は、専らメールです。
 例えば、「*さんから電話がありました」、「帰宅は、*時になります」などの日常会話は、スマホのラインで、その他、スケジュールやその変更などは、パソコンメールで伝えるというルールがいつの間にか出来上がっていました。
 このルールは無機質ですが、直接会話するといふ文句も言いたくありませんが、メールだとつまらない争いもなく「平和」(?)です。
 昨夜は、別の部屋にいる主人に、「早くお風呂に入って下さい」とメールしました。
 (すがこ記)

市民政党「草の根」のネット案内 どうぞご覧ください

フェイスブック (市民政党「草の根」)
<https://www.facebook.com/vep00350>

草の根ホームページ
<http://kusanone-iwakuni.net/>

井原勝介ブログ (草と風のノート)
<http://ihara-k.cocolog-nifty.com/blog/>

井原すがこブログ (すがこの想い)
<http://blog.goo.ne.jp/sugako31>

草の根コラム

報道によると、

2013年度の山口県の県債残高は1兆3265億円で、12年末に比べ0.6%増となり過去最多を更新した。この額は1996年の6619億円に対し2倍になる。▼県債は県が行った借金、増え続けている。平成23年2月の定例会で井原議員が増え続ける県債について質問、県は何の心配もなさそうに増え続ける残高を答弁している▼景気回復に伴い、法人税を中心に県税収入は4.7%増えているのに、県債は増加した▼収入に対する借金返済の割合を示す実質公債費比率は悪化したと報道された。税収に見合う県債が出来ていない▼県債の増加はやがて財政を圧迫し、子や孫へ受け継がせることになる。そんなことは分かってきつていようが、改められないということは、本当は分かっているのだらう。